

校長だより

三月号

岸和田市立北中学校 松下 孝徳

一月も行ってしまい、二月は逃げて、とつとつ三月も去っていくつとされています。本年度最後の校長だよりになります。本当に一年が過ぎるのは早いものです。年齢を重ねていけばいくほど特にそう感じます。

三月十二日に第四十四回卒業証書授与式を挙行しました。素晴らしい卒業式でした。私にとっても校長となって初めての卒業式でしたので感慨ひとしおでした。一人ひとりに卒業証書を手渡し、「おめでとつ」と声をかけると涙ぐむ生徒もいて、私も胸がつかまりました。卒業式は何度の経験してきますが、人生の分岐点での別れは格別で「か」感胸に迫るものがあります。

一・二年の合唱コンクールが十八日十九日で行われ、今回はコロナ禍での開催のため残念ながら、保護者の観覧は、遠慮いただくこととなりました。授業中の練習が制限により満足にできず、本番ギリギリまで、きちんととそろって歌えなりました。一週間前に行われたリハーサルでは、なみな声が出ず、本当に心配しました。

しかし本番では担任の先生の尽力もあり、生徒たちは精

一杯歌っていました。各クラスの成長がみられたコンクールでした。これなら来年度の浪切ホールではさらに最高の歌声を響かせてくれると確信しました。

「みんな、たくさんの感謝をありがとう。」

またまた新型コロナウィルスの影響は甚大で、第四波もひたひたと迫ってきています。しかし、学校教育は歩みを止める訳にはいきません。令和三年度は一人一台タブレットが配備された学習指導要領も変わり、観点も今までの観点から三観点に変わります。(前述の話は次年度に詳しく説明していきますね。)北中では今まで一学年を複数名で対応する教科指導体制でしたが、次年度からは他中と同様に学年教師中心の教科指導体制に変わります。また、本年度は単元別テストを実施し、また、様々な角度から検証した結果、次年度からは廃止し、中間テスト、期末テストの定期テストとします。基礎基本の定着を最重要課題とし、教師と生徒との信頼関係とし、しっかりと構築し、生徒の主体的対話的をとして深い学びへと導いていけるような取り組みを今後も行っていく予定です。

本年度様々なことがありましたが、なんとか締め
くぐることができました。心もひとえに保護者の皆
様の支援、ご協力の賜物だと感謝しています。
学習面、生徒指導面等、課題はまだありますが、
ひとつずつ乗り越えていきたいと思います。これからも引
き続き水中にご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願
いします。我々教職員もすべての職員がすべての生徒
を幸せにできる学校を目指して頑張っていきます。
一年間本当にありがとうございました。